

平成23年度第2回青梅市協働事業市民推進委員会概要

平成23年6月29日

本庁舎2階 206会議室

10:00～12:05

配布資料：名簿、アンケート調査結果、視察候補地

出席者：委員9名 事務局：3名（部長含む）

○ 委嘱状交付

- ・ 部長から井上委員に委嘱状交付
- ・ 部長あいさつ
- ・ 委員長あいさつ

1 報告事項

（1）協働事業調査について

事務局報告

（質疑）

委員長：各課で協働事業と判断して報告するのか。報告の漏れはないのか。

事務局：各課で判断する。事務局で気づいた事業については指摘し追加で報告してもらう。

事務局：報告のある事業全体に目を通してもらい、意見をいただきたい。

委員：この委員会は協働なのか。庁内会議も共に出席し話し合うのが協働ではないのか。→協議事項へ

（2）NPO・市民活動団体アンケート調査結果の報告

事務局報告

（質疑）

委員：結果はホームページで公表されているのか。

事務局：公開している。

委員：P11にある財政確保の研修とは何か。

事務局：行政、ボラセンおよび民間の助成金の活用についてである。

委員：イベントを行う際、個人が費用を立替えて実施し、その後助成金をもらうことがある。

事務局：助成金は精算払いが多い。まず、行政が団体に払い、事業後に助成金を市がもらうような仕組みも必要である。

委員：ホームページで財政確保の方法は示されているのか。

事務局：示していない。

委員長：活動分野の文化・芸術とスポーツは分けた方が良いのでは。

事務局：できれば細分化したい。

委員：財政について寄附の考えを広めるのもいいのでは。

事務局：国の動きで新しい公共支援事業があり、寄附や融資利用の支援事業も計画されている。

委員：活動継続のために有償ボランティアを増やした方がよい。

委員：現在有償ボランティアとして家の清掃や料理をするものがある。

委員：無償でパソコンを教える活動をしているが、設備については助成金等が必要である。

事務局：有償、無償については団体や事業それぞれでよいのでは。

委員：引きこもりの高齢者もいる。高齢者に対する活動のPRも必要では。

委員：PRもそうだが、地域のつながりも必要である。地域事業への助成も必要。有償、無償の金額については気持ちである。

委員：地域のつながりについては、地域の大きな課題として取り組むべきである。自治会の加入率も低下している。

委員：確かに加入率は低下している。地域によっては、高齢者からは会費を取らずに会員としているところもある。

(3) その他

事務局：新任職員向け協働研修を行った。

委員長：参加者はどれくらいか。

事務局：21名である。

2 協議事項

(1) 視察研修について

事務局説明

(質疑)

委員：各市の人口規模は。

事務局：入間市は青梅市と同じくらいである。板橋区と武蔵野市については調べていない。(入間市：約15万1千人、板橋区：約53万6千人、武蔵野市：約13万6千人)

委員：委員が視察をする必要はあるのか。

事務局：委員会のあり方がまだはっきりしていないが、協働について勉強し、課題を発見し意見をまとめる委員会としたい。その材料として視察を行いたい。

委員長：この委員会は市民として意見を出すものだと思っている。しかし意見を出してどうなるのか見えない。庁内の委員会と合同で意見交換をする場があってもよい。

委員：意見交換をやった方がよい。視察は他市を見ることで勉強になる。

委員：これまで様々な委員会で意見を出してちゃんと反映されてきた。この委員会でも意見をまとめそれが反映されてほしい。

事務局：庁内委員と協議すると違う立場で意見が出るので意見交換を行いたい。その材料の一つとして調査や視察を行い最後に意見をまとめてもらいたい。

委員：視察の前に青梅の協働について勉強してから行った方がよい。

事務局：研修視察は10～11月の秋頃に実施したい。その前に委員会で勉強する。

委員長：視察先は事務局に一任することよろしいか。(承認)

(2) 青梅市における協働の推進について

委員長：市民団体と関係課で懇談会をしてみたい。

委員：(1-(1)の続きで)委員会が市民側として意見を出すところならば、庁内委員会と合同でなくてもよい。その他に協働をPRするため、行政が協働で行いたいことを示して市民から提案を受けてはどうか。

委員：立川市と大山団地の連携がよい。一つの協働の形として参考になるのでは。

委員：協働が進まない理由とは何か。

事務局：既存事業では今までのやり方を変えるのは難しい実情がある。新規事業での協働や市民と職員の意見交換も必要。

委員：職員は協働ナビを読んでいるのか。

事務局：読んでいるが実践できないでいる。研修の実施や行政からの協働事業の提案など働きかけを行っていく。

委員長：次回の会議でさらに議論していく。

(3) その他 特になし

3 その他

(1) 協働研修について→次回

副委員長あいさつ

—閉会—

次回は8月24日 午前10時から

・協働事業調査結果と今回の概要を送付することとする